

令和5年2月15日(水)

令和4年度第3回立川市立第三小学校学校運営協議会 次第・議事録

【日時】 令和5年2月15日(水) 9:30~10:30

【場所】 立川市立第三小学校 北校舎1階 家庭科室

【役割】 司会、記録：副校長

【次第】

- (1) 今年度これまでの様子(授業や行事の様子、立川市民科の取組、各種調査結果など)
- (2) 今年度これからの予定(卒業関連行事、人事異動関連など)
- (3) 来年度の教育課程編成(児童・保護者アンケート結果や教職員の評価を踏まえて)
- (4) 来年度の予算編成等(地域学校協働本部事業、大型電子黒板等の備品導入予定)
- (5) PTAから
- (6) その他(市教委よりアンケート記入のお願い他)

*質疑は、それぞれの項目の中で承ります。

【委員の方々からのご意見・ご感想、ご質問等】

・「委員」…学校運営協議会委員7名それぞれから ・「学校」…校長、副校長、中村

「(1) 今年度これまでの様子」について

調査結果（東京ベーシックドリル）について

委員：ここまで成果が出たのは、何か要因があるのか。

学校：ひとつは各学年・学級担任の時間の確保や声かけ、もうひとつはテスト結果をまとめる度に算数少人数担当教員から発信される各学年の分析を全校で共有していることが奏功している。ただ時間を確保して児童に取り組ませるだけで成果を出すことは難しいと考え、令和2年度から継続してこの両輪で取り組んでいる。成果は、ベーシックドリルの取組だけでなく、4月に行っている全国学力・学習状況調査（6年）でも表れている。今後も、学校として継続させていきたい。

委員：前にやったことの復習にもなり、苦手克服につながる子もいるのだろうから、いい取組ではないか。

委員：自分の経験からも、算数はわかってくると面白くなる学問だから、基礎学力の向上は大切である。

委員：ベーシックドリルのように、学校がベースアップの意識をもって取組を継続させてくれるのは、保護者としてありがたいことである。

委員：学校公開で校内を見て回った時には、色々な掲示物があった。ただ子供に取り組ませるだけでなく、やはり、興味や関心を高めないとやる気も起きないのではないか。

学校：その通りで、特に、算数教室前や算数教室内の掲示物は、子供の興味・関心をひきつけ、実際に触れて解くことができる物も用意しており、学力向上に一役買っている。

「(2) 今年度これからの予定」について

卒業式について

委員：今、マスク着用の緩和等報道で流れているが。

学校：文科省や都教委の通知を受けて、3月初旬の校長会で市教委からの確認がある。式の直前になってしまうが、その確認を受けて保護者にお知らせする。

「(3) 来年度の教育課程編成」について

三小給食のセンター化について

委員：三小の給食もセンター方式に変わるが、7月の最後の給食辺りで考えていることはあるか。

学校：教育課程には明記してないが、これから教職員と考えていく。子供の中にも、気にかけている子が多くいて、給食室宛に年賀状を書いた子もいた。そういう子供たちの気持ちも踏まえて考えたい。

委員：センター化への準備も含めて、1学期の給食終了がいつもより早まるということか。

学校：その通りである。例年通り7月20日前後まで給食を提供していると、工事等準備の関係で2学期9月のセンター給食開始がずれ込むということで、このように（教育課程第4表）設定した。

避難訓練について

委員：毎月設定されている避難訓練では、どのような内容で行っているか。

学校：地震や火災の放送で全校児童が避難する基本的な訓練だけでなく、集団下校や保護者への引き渡し、不審者対応などの訓練も行っている。また、年度の後半には、休み時間に設定したり子供への予告なしで行ったりして、対応力を高める工夫もしている。

全校遠足について

学校：学校だよりの2月号でもお知らせしたように、年末に行った学校評価アンケートで保護者の書き込みによる回答で最も多かったのが全校遠足についてである。そのことも踏まえて学校でも検討を重ね、例年全校遠足を設定していた時期に「たてわり活動」として残し、全学年の授業を2時間ほどカットして行事として実施することにした。特に高学年の保護者からは、平成30年度まで行っていた「全校児童がたてわりでお弁当を持って昭和記念公園へ」という実施形態の存続を望む声もあったが、経験している子供が少ない上（来年度は6年生のみが経験者）、体力や時数確保の面からも5年前同様の実施は難しいと考え、新年度、保護者には丁寧に説明していく。

令和5年度教育課程の承認

学校：学校からの説明や質疑応答の内容を踏まえて、令和5年度の教育課程は承認いただけるか。

委員全員：承認する。

「(6) その他」について

6年生の進路について

委員：6年生の進学先は大体見えてきたのか。

学校：今週月曜を目途に保護者から6年担任が確認をしたところである。大まかに、約8割が三中で、2割が三中以外と確認している。細かな数字は、卒業式に配布する学事報告に掲載する。